

【仮訳】

「持続可能な木材利用に関する閣僚宣言」

持続可能な木材生産と利用は、森林の価値を高め、気候変動を緩和します。木を用いた建築や木と共に生活することは、再生可能な材料への需要の高まりに対応し、グリーンリカバリーの推進力となります。

持続可能な木材は、建設、包装、再生可能エネルギー、衣類や生化学物のバイオ素材などを含む、多様なバリューチェーンにわたる解決策を提供します。

炭素集約型材料の代わりに持続可能な木材を利用することによってバイオ・エコノミーを拡大させることは、カーボンニュートラルを達成し、より強靱な経済を構築するための、費用対効果が高く、革新的な貢献の拡大となる高い可能性を有しています。

持続可能な木材を活用した解決策（sustainable wood-based solutions）は、経済回復、農村地域の成長、循環型経済への革新といった幅広い目的との相乗効果を生み出します。持続可能な木材を活用した解決策は、持続可能な森林管理に基づくと共に、森林における炭素貯蔵、生物多様性の喪失、その他の重要な森林サービスなど、森林の他の多様な役割とのトレードオフのリスクに対処し、森林管理、劣化した森林の回復、造林の取組を強化する必要があります。

木材資源を持続可能な方法で使用するという我々の国家的な政策の経験と責務に基づき、付加価値のあるカーボンニュートラルな製品には、費用対効果が高く公平な解決策の拡大が必要であることを認識し、**持続可能な木材を活用した方策（sustainable wood-based pathways）の拡大を呼びかけるために**、我々は、持続可能な木材利用に関する閣僚級フォーラムに集まりました。

- 持続可能な木材の可能性に対する認識の向上
- 関連する相乗効果とトレードオフ、及び投資を強化する方法に係るグローバル及び地域的な政策対話の強化
- 持続可能な森林管理、効率的な木材バリューチェーン、持続可能な木材の利用に関するイノベーションを推進するための技術交流、経験の共有を促進する方法の改善
- 2030年までの「国が決定する貢献（Nationally Determined Contributions）」における持続可能な木材を活用した解決策の大幅な増加

また、我々は、持続可能な木材利用の機運を高め、行動を拡大するための、政策の強化と技術的対話、国及び主要な利害関係者間の交流等を推進するために共に力を合わせ

ると共に、国連食糧農業機関（FAO）と森林に関する協調パートナーシップ（CPF）のメンバーによる支援を歓迎します。

我々は、持続可能な木材の可能性を最大限に追求することで、よりカーボンニュートラルで強靱な経済を構築し、より持続可能な社会に向けて前進できると確信しています。

持続可能な木材利用に関する世界林業会議閣僚宣言は、2022年5月3日の第15回世界林業会議において、以下の国の代表者によって発議されました。

大韓民国山林庁長官

カメルーン森林・野生動物省大臣

日本国林野庁次長

オーストリア農業・地域・観光省副大臣

ペルー農業開発灌漑省大臣代理 森林・野生動物庁長官

ガボン水・森林・海洋環境省大臣

チェ・ビョンアム

ジュレス・ドレット・ンドンゴ

織田央

マリア・パテック

ロペス・コルドバ

リー・ホワイト

（以上）